

6 市立図書館における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
124	図書館バリアフリー宣言	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、図書館のバリアフリー宣言をし、様々な場面でPRする。 〔108にも掲載しています。〕	継続				平成19(2007)年度より引き続き図書館はだれもが気軽に立ち寄り、利用できる場所であることをアピールするため、バリアフリー宣言「図書館へようこそ」を館内で掲示するとともに、ホームページの利用案内のページに掲載し、周知を行った。	市立図書館
125	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取り組みを充実する。	継続				子どもたちがわかりやすい書架案内や書架表示の工夫とともに、子どもたちが職員に声をかけやすい積極的なフロアワークを継続して行う。また学校図書館からのレファレンスに対して迅速かつ的確におこなうためのレファレンスシートの検討を行った。蛭池図書館では保育所での継続的なテーマ設定での読書活動をお手伝いした。	市立図書館
126	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読みあう楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。4か月児健診時、市内4か所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔22にも掲載しています。〕	拡充		受診者数 3,370人 受診率 94.9%		平成19(2007)年4月より本格実施。資料の配布は受診者全員に行っている。絵本コーナーに立ち寄ってもらうよう声かけをし、赤ちゃん和絵本を読む楽しさを伝えるように工夫している。受診者と一緒に来所する姉兄も絵本に親しむ機会となっている。未受診者には保健師が訪問時に資料を配布し、保健センターにも一部常備して渡せるようにしている。図書館の赤ちゃん向けおはなし会への参加人数が増え、赤ちゃんの名前での利用者カードの登録もあり、図書館利用につながっている。それぞれの赤ちゃん和保護者に応じて絵本の楽しさを伝えることが課題である。年に1回、この事業に関わっている豊中子ども文庫連絡会・健康支援室・図書館による懇談会を開催し、情報交換や意見交換をしている。	市立図書館 健康支援室 子育て支援センター 豊中子ども文庫連絡会
127	乳幼児向けおはなし会	「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者が楽しみながら、わらべうたや絵本にふれる機会をつくる。	拡充		実施回数 参加人数	0歳から参加できるおはなし会205回4,192人、赤ちゃん専用スペース22回524人、すくすく赤ちゃんタイム7回197人、すくすくおはなしタイム7回180人。(番外編 1回77人)	0歳の赤ちゃんから参加できるおはなし会 6館で実施。 赤ちゃん和絵本を楽しむ専用スペース 2館で実施。保健師を招いての健康相談などのお話と図書館職員によるおはなし会を組み合わせた「すくすく赤ちゃんタイム」7館で実施。 保育士を招いての手遊びや遊びの紹介と図書館職員によるおはなし会を組み合わせた「すくすくおはなしタイム」1館で実施。	市立図書館
		「赤ちゃんの事故防止の話聞いて良かったです。まだねんねの時期ですが早めの対策に役立てたい。」「保健師さんのおはなしがもっと多くてもよかった。」「いろんな月に生まれた他の月齢の赤ちゃんも過ごせて、楽しめました。」「手遊びが楽しかった。事故についても聞いて良かった。」「(すくすくあかちゃんタイム千里図書館の参加者アンケートより)						
128	おはなし会	子どもが絵本やおはなしの楽しさを知ることができるよう、図書館でおはなし会を定期的に行う。	継続		参加人数	のべ16,876人	おはなしボランティアと連携しながら各図書館および図書室で定期的実施しており、子どもの年齢を細分化するなど、サービスの充実につとめており、参加人数も増加傾向にある。小学生以上を対象とした機会が少ないことが課題である。	市立図書館 おはなしボランティアグループ

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
129	「えほんにたち」	「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、経験豊かな講師を迎え、0歳前半と後半などの発達段階に分け、親子で一緒に楽しみながら、読書の大切さを感じる取り組みを図書館などで行う。	継続		実施回数 参加人数	4館で計8回実施、143人	平成19(2007)年度に比べて申し込み者は減少傾向であるが、毎年実施館が異なるため地域性も影響していると考えられる。年々、図書館での定例の赤ちゃん向けおはなし会が定着してきているが、この事業に対する参加者の反響が大きく、職員の研修も兼ねていることから引き続き次年度も実施予定。	市立図書館
130	絵本講座の開催	子育て支援の講座のなかで、親子が一緒に楽しみながら読書の大切さを感じる取り組みを、関係機関・団体と連携して行う。 〔1、9、25、102をご参照ください。〕	拡充		実施回数 参加人数	52回 1,863人	昨年度に引き続き、子育て支援センターや社会福祉協議会を通じての子育てサロン・サークルからの出前講座の申込みに対応している。各図書館とも主に子ども室の担当者が出向き、絵本の楽しさや大切さについて簡単な説明をしたり、おはなし会を行ったりしている。また、会場によってはその場で絵本の貸出を行うこともある。いずれも定着しているようで、相手先の年間の行事として組み入れられている様子が伺える。	市立図書館 関係機関・団体
131	情報検索の講習会	子どもを対象とした図書館の情報検索について講習会を行う。	継続				一度に多くのパソコンを用意しなければならないこと等、課題は多いが、学校と連携して、学校での講習会も視野に入れ、検討する。蛭池図書館では学校での講習会に参加。	市立図書館
132	「子どもと本のまつり」 「子どもと本のつどい」	子どもが絵本の読み聞かせやおはなし、手づくり遊びなどを楽しむ「子どもと本のまつり」や講演会、ワークショップなどの「子どもと本のつどい」を豊子連と共催して行う。 〔15をご参照ください。〕	継続		実施回数 参加人数	子どもと本のまつり(子ども175人、大人77人)、子どもと本のつどい(2回、729人)	「子どもと本のまつり」では、「おはなしボランティアポケット」と「(特活)国際交流の会とよなかTIFA」の協力を得て、おはなし会と工作教室、お手玉遊びを行い、多くの参加があった。「子どもと本のつどい」は今年度より2回の実施となった。1回目は佐々木正美さんの講演会「子どもへのまなざし」、2回目はたかいよしかずさんの作品展と工作教室を行った。作品展は6日間にわたっての開催で、子どもから大人までたくさんの方が足を運ばれた。また工作教室ではふだんなかなか図書館へ来館しない小学校高学年の子どもたちの参加があった。	市立図書館 豊中子ども文庫連絡会 (豊子連)
133	伝承遊びの場づくり	地域の大人による、伝承遊びや昔語りの場を提供する。	継続			「むかしあそびつくってあそぼう」44人	子どもたちが地域の人達とともに、世代を越えて手作りおもちゃを作って遊ぶ場を提供して、関連する資料の展示・貸出もした。ふれあいネットワークの皆さんを講師に招き、かざぐるま・紙ひこうき・でんでんたいこなどをみんなで作った。年一回のお楽しみの行事としてではなく、世代交流の場として日常的な取り組みとして位置づけていくことを目指す。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部 局・団体
						実績	実施状況と課題	
134	子ども対象の催し	折り紙や手作り工作をはじめとした地域子ども教室など、子ども向けに行っている行事を充実し、子どもと本をつなぐ機会とする。	継続		実施回数 参加人数	地域子ども教室3館96回実施、参加2,020人。子ども映画会4館52回、672人、手作り工作など子ども向け行事5館64回、1,332人	地域子ども教室や図書館が主宰する子ども向けの行事を行うことで、地域の子どもたちが図書館に来館して本に親しむ機会となっている。	市立図書館
135	「おはなし会がやってきた！」(旧おはなし指導者派遣事業)	子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。(58、83、100にも掲載しています。)	継続		おはなし会の回数 参加人数	7カ所で9回開催、参加人数は661人	平成20(2008)年度より「おはなし会がやってきた！」として実施。民間保育所(園)4カ所、支援学校1校(3回開催)、障害児通園施設2カ所でおはなし会を行った。事業をきっかけとして、実施園への団体貸出などの図書館サービスが始まった。	市立図書館
136	保育所(園)・幼稚園訪問	保育所(園)、幼稚園に出かけて、おはなし会や図書館の使い方の説明を行い、絵本やおはなしの楽しさを伝える。(60にも掲載しています。)	継続		実施所(園)数	8回	子どもたちの反応はよく、大きな子には本への興味や図書館利用に結びつけることができる。園によっては0歳児から参加することもありプログラム構成は難しいが、保育士・教諭への選書の支援や団体貸出など保育現場での読書環境の充実につなげるきっかけとしている。	市立図書館 保育所(園) 幼稚園
137	「ようこそ図書館へ」	主に小学校3年生を対象として、小学校へ図書館見学を呼びかけて実施する。	継続		実施校数	41校	子どもたちが地域の図書館に来て、より図書館を身近に感じてもらうことによって、来館につながる大事な機会となるため、継続して行う必要がある。	市立図書館 小学校
138	講座の開催	保護者や子どものまわりにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を行う。	継続		回数 参加人数	2回 28人	平成19(2007)年度までは私立幼稚園の保護者を対象に実施してきたが、平成20(2008)年度は保育所で開催した。保育所の保護者は仕事を持っているので、園での行事の前に設定し、時間も夕方からにするなど工夫をした。保護者の絵本や読書に対する関心は高いと感じるが、参加率は低かった。PRの際に講座の内容を具体的に紹介するなど、開催の周知の仕方などが今後の課題。	市立図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
139	ブックリスト	本の紹介リストを作成する。	継続				赤ちゃん向け絵本の紹介冊子を一部改訂し見やすくした。(このリストはHPでも公開している。)服部図書館のおはなし会10周年記念で、ボランティアにも協力いただき「思い出の一冊」冊子を作成、配布。千里図書館ではYA(ヤングアダルト)向けリーフレットを発行し、テーマを設けてYA向けの本を紹介した。	市立図書館
140	ホームページの充実	図書館の子ども向けホームページをより使いやすいものにする。	継続				平成20(2008)年度にシステムのリプレースを実施し、子ども向けの利用案内や催し等を新設した。だが現時点では、ホームページの定期的な更新ができていないので、今後も検討していく必要がある。	市立図書館
141	家庭への情報提供	図書館のホームページやケーブルテレビで本の紹介などを行う。 [6、109にも掲載しています。]	継続				図書館のホームページをリニューアルし、こどものページや赤ちゃんのページを設けた。その中に赤ちゃん向けの絵本や教科書に載っている本の一覧を掲載している。ケーブルテレビでの本の紹介は未実施。	市立図書館
142	新1年生へのPR	「新1年生ピラ」を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 [5にも掲載しています。]	継続		配布枚数	3,490枚	図書館のPRおよび利用促進のよい機会となっているので、学校司書と連携しながら今後も継続していく	市立図書館
143	情報検索のリーフレット	子どもを対象とした図書館の情報検索のリーフレットを作成する。	新規				図書館見学の場などで、実際に検索を行う際に簡易なものを渡しているが、まとまった内容のものではない。	市立図書館
144	教職員向け利用案内	教職員向けの図書館利用案内を作成する。	継続				利用案内の内容を検討中	市立図書館 義務教育課 小中学校
145	中学・高校生へのPR	市内の中学校、高校に利用案内やポスターを配布する。	拡充		配布校数	全中学校・高校1校	各図書館から中学校へ各種の案内等を送付している。高校についてはまだ十分な連携を取っていないが、一部の図書館では資料の貸出に結び付けているところもある。「子どもと本のつどい」や高校生向けの読み聞かせボランティア講座などを実施する際には各高校へチラシやポスターなどを配布し、PRに努めた。平成20(2008)年2月にリニューアルオープンした千里図書館では、4月にリニューアルオープン案内のチラシを、7月にYAコーナー紹介のチラシを、10月に中高生にとって興味のある内容の通信を発行し、近隣中学校・高校に配布した。	市立図書館

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
146	市立図書館の資料の充実	図書館が子どもや子どもの本に関する情報を収集して資料を選書し、児童書の蔵書をさらに充実したものとする。	継続		児童書の受け入れ冊数	16651冊	こども室の担当者が子どもの本の情報を共有し合うようにしている。利用者からのリクエストや各館担当者からの購入提案についても、選書委員会を通じて積極的に対応している。	市立図書館
147	はじめてであう絵本のコーナー	子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置する。	継続		コーナー設置数	すべての図書館(9館)	すべての図書館に子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置している。コーナーでは絵本のほかに地域の情報や子育て情報を提供している。	市立図書館
148	子育て支援	子どもの本とともに子育てに関する資料や情報を提供し、図書館が子育て支援の場のひとつとなるよう環境整備を行う。	拡充				赤ちゃんと保護者を対象にした行事や「はじめて出会う絵本」のコーナーに、チラシや子育てに関する資料を展示している。こども室に子育てに関する資料のコーナーを設けている図書館もある。全ての図書館で、希望者には授乳スペースを確保している。	市立図書館
149	ティーン向けの資料の充実	ティーン向けの本のコーナーを設置する。	継続				9館中8館がヤングアダルトコーナーを設置している。平成20(2008)年2月にリニューアルオープンした千里図書館では、コーナーを広くとりテーブルや椅子も設置している。加えて、近隣の中学校と連携して中学生が薦める本のコーナーを設けたり、出版者の文芸PR誌・フリーペーパー・近隣高校文芸部の冊子などを収集し、YA世代の情報交換を促している。	市立図書館
150	資料の充実	図書館が通園施設や支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書の際の参考にする。 〔113にも掲載しています。〕	継続		施設数	支援学校2校、通園施設2カ所	施設や学校で活用される資料の、要望やニーズについて巡回時に情報交換している。そして動く図書館車に積み込む資料に反映して、施設や学校の読書環境の整備につとめている。課題としては、施設の職員や保護者が入れ替わるたびに、継続的に交流の場を持つことがあげられる。利用方法についても、年度初めに案内を配布しているが、直接説明を実施することがのぞましい。	市立図書館 通園施設 支援学校
151	外国語資料の充実	関係団体と連携・協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、外国語資料を購入や寄贈本を受け入れることによって蔵書を充実する。また岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 〔111にも掲載しています。〕	拡充		新規受入冊数 所蔵冊数	95冊、 8,851冊	購入内訳(中国語32冊、英語26冊、韓国語20冊、ブラジル語13冊、フランス語4冊)	市立図書館
152	外国語資料の検索システムの整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。 〔114にも掲載しています。〕	継続				平成20(2008)年3月の図書館システムのリニューアルに伴い、多言語対応の環境は整備されている。未整備の多言語のデータ作成が課題となっている。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
153	動く図書館の巡回	動く図書館が通園施設や支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ資料を貸出する。	継続		動く図書館で巡回している施設数 貸出冊数	保育所5カ所、支援学校2校、通園施設2カ所、9,427冊	約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施している。動く図書館車に資料をのせて各施設に乗り入れることで、図書館から距離があるなど様々な理由で来館が困難な子どもたちが、たくさんの資料の中から自分のお気に入りの本を選び、本に親しむ機会となっている。平成20(2008)年度は動く図書館車の更新、コンピュータリブレイスによる運休期間があった。また、図書館に来館することが困難な子どもたちへのサービスをより強化するため、市内の民間保育所(園)数カ所をこども室担当者と共に視察し、新たな巡回先を検討した。	市立図書館
154	団体貸出	子ども文庫、保育所(園)や幼稚園、人権まちづくりセンターなどへ団体貸出を行う。[15、45、67、112をご参照ください。]	継続		団体貸出冊数	子ども文庫5,454冊、保育所23,408冊、幼稚園1,986冊、人権まちづくりセンター1,767冊、おはなしボランティアグループ9,246冊	子ども文庫や学校、放課後こどもクラブ、保育所(園)、幼稚園及び自主的な活動グループで10人以上の利用者を有する団体に資料の団体貸出を行っている。貸出の期間や冊数は利用団体の種別ごとに定められており、図書館では選書の補助や、必要に応じて配本などを実施している。	市立図書館
155	放課後こどもクラブへの貸出しと配本	放課後こどもクラブへ絵本や紙芝居などを選書し、定期的に貸出・配本する。平成18年3月現在32ヶ所で実施。[45をご参照ください。]	継続		放課後こどもクラブ貸出冊数	39校、11,534冊	平成20(2008)年度は配本実施校が3校増えて39校となったが、うち1校は夏休み中のみ配本することとなった。これ以外は、およそ4か月に1度、本を入れ替えるために配本をしている。昨年度にひきつづき、41校すべての放課後こどもクラブの配本を実施できるよう体制を整えていきたい。	市立図書館 子育て支援課
156	学校図書館との連携・支援	市立図書館職員と学校司書が日常的に子どもや子どもの本に関する情報を共有する。その中で学校図書館への団体貸出や調べもの、リクエストなどの支援を充実する。また市立図書館の行事においても両者が連携し、内容の充実を図る。	継続		学校図書館への団体貸出冊数	41355冊	調べもの等の支援を充実させる為、レファレンス用FAX用紙を作成中。また、市立図書館で行う様々な行事について、ポスター掲示やチラシ配布などを通して、PRに連携・協力して頂いている。蛭池図書館では学校行事に参加し、図書館案内を兼ねたおはなし会を実施。また点字ボランティアやおはなしのボランティアを紹介。点字講習会実施後には点字絵本の寄贈をいただく。	市立図書館 義務教育課 小・中学校

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
157	学校・市立図書館連絡会	学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を設ける。 (90にも掲載しています。)	継続		会合・研修回数	9回(8館×1回+1回)	義務教育課を通じて、市立図書館の司書と担当する地域の小・中学校の学校司書と交流会を持った。当日は図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取り組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに、図書館における地域の子ども読書に関する情報交換を行った。また毎年、新任学校司書向けに市立図書館司書による研修を実施している。さらに平成19(2007)年度に実施した学校図書館連絡会中学部会と市立図書館との交流会は未実施のため平成21(2009)年度実施に向け、内容、時期を義務教育課を通して検討していく。	義務教育課 市立図書館
158	小児科などの医院との連携	地域の小児科などの医院と、子どもと子どもの読書に関する情報交流を行う。 (2をご参照ください。)	新規				平成19(2007)年度より引き続き小児科医院などへ市立図書館が作成した絵本リスト「赤ちゃんとおはなし」を配布することで調整しているが、実施にいたっていない。	市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
159	おはなしボランティア活動への支援	地域や図書館、学校で活動するボランティアに対して図書資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 (16にも掲載しています。)	拡充		貸出冊数 ボランティア支援講座の回数 参加人数	9,246冊、ボランティア講座6回のべ204人、フォローアップ研修講座2回 103人	平成19(2007)年度に引き続き「子どもと本をつなぐボランティア講座」を行った。平成20(2008)年度は昨年度までの講座の内容や回数を見直しを行い全6回の連続講座とした。また、活動を行っているおはなしボランティアを対象に「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」を実施した。今後は幼稚園や学校、様々な施設で活躍するボランティアの交流の場をつくり、地域でのネットワーク作りをすすめる取り組みが必要となる。	市立図書館
		・絵本作家の苦勞や絵本への思いが良く分かりました。絵本を選ぶときも思いを持って選んで、1冊1冊大切に読んでいきたいです。 ・自分が読める本読めない本があることを少し悩んでいましたが、講座に参加してスッキリしました。自分の読める本を大切に活動していこうと思います。 ・絵本を通じての子どもとのかかわり方や絵本の選び方など戸惑っていたので、たくさんのヒントをいただきました。						
160	紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」	市立図書館や地域の公共施設が地域のおはなしボランティアと連携し、小学生・中学生・高校生のおはなしボランティア活動を支援し、活動の場を提供する。 (17、72、91をご参照ください。)	拡充		実施回数	16回(高川:10回 庄内:6回)	中学生・高校生ボランティアによる幼児向け紙芝居会を毎月1回実施している。また参加者募集の意味で、昨年度に引き続き、担当地域の中学校の学校司書に相談し、中学校に職員とボランティアが出向いて、紙芝居の読み聞かせや実演のアドバイスをを行った。この訪問がきっかけとなり来年度は、小中連携の一環として中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせを行う案も考えているとのこと。	市立図書館 おはなしボランティアポケット 関係施設

子どもに関わる大人への啓発と研修

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
161	パネル展	子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネル展を行う。	継続		実施回数 参加団体数	4回	「子どもと本をつなぐ地域交流会」では活動を紹介するパネルやポスターを展示している。今後はより多くの方に子ども読書の活動を知ってもらうことが課題である。	市立図書館
162	教職員への取り組み	夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学会や図書館・図書館資料の効果的な活用を提案する。 [94をご参照ください。]	新規	○			小学校の教員向けに図書館職員によるインターネットでの情報検索についての研修を行った。	市立図書館 義務教育課 小中学校
163	情報交流と研修	図書館や関係機関等で行う講座や研修の情報を共有し、学習の機会を広げる。 [76、123をご参照ください。]	拡充		研修回数 参加人数		平成20(2008)年度の「子どもと本のつどい パート1」において児童精神科医で自閉症治療教育プログラム「TEACCH」の研究にも携わっておられる佐々木正美さんの講演会「子どもへのまなざし」を実施。講演会の開催にあたって、通園施設の職員へ情報の提供と講演会への参加の呼びかけを行った。	市立図書館 関係施設
164	図書館職員研修	図書館の児童サービスに関する研修を充実する。 [54をご参照ください。]	拡充		研修回数	大子連 児童文化講座9回	大阪府の司書セミナーや大阪府子ども文庫連絡会主催の児童文化講座へ参加し、研修の場としている。また参加者によるレジメおよび記録の回覧で職場内での共有につとめた。	市立図書館